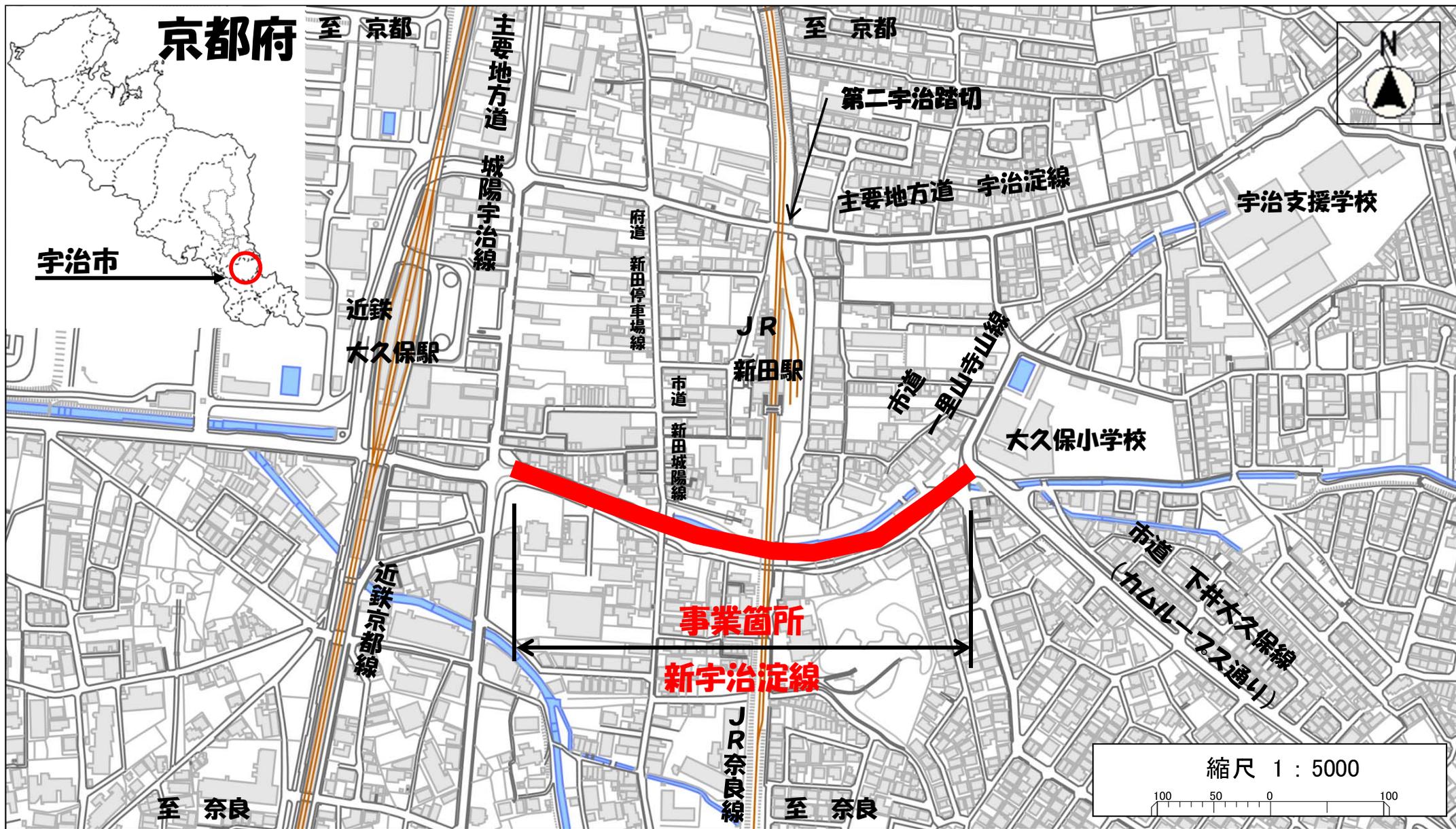


# 第30回 全国街路事業コンクール応募資料

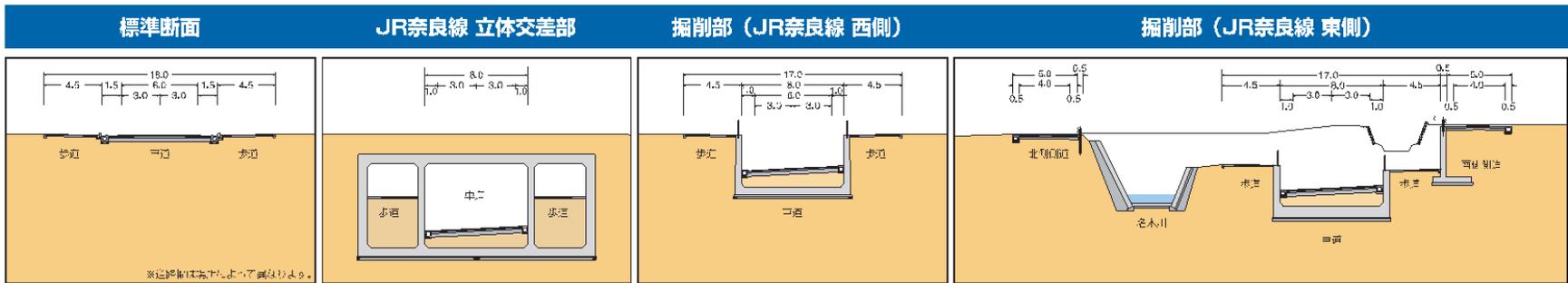
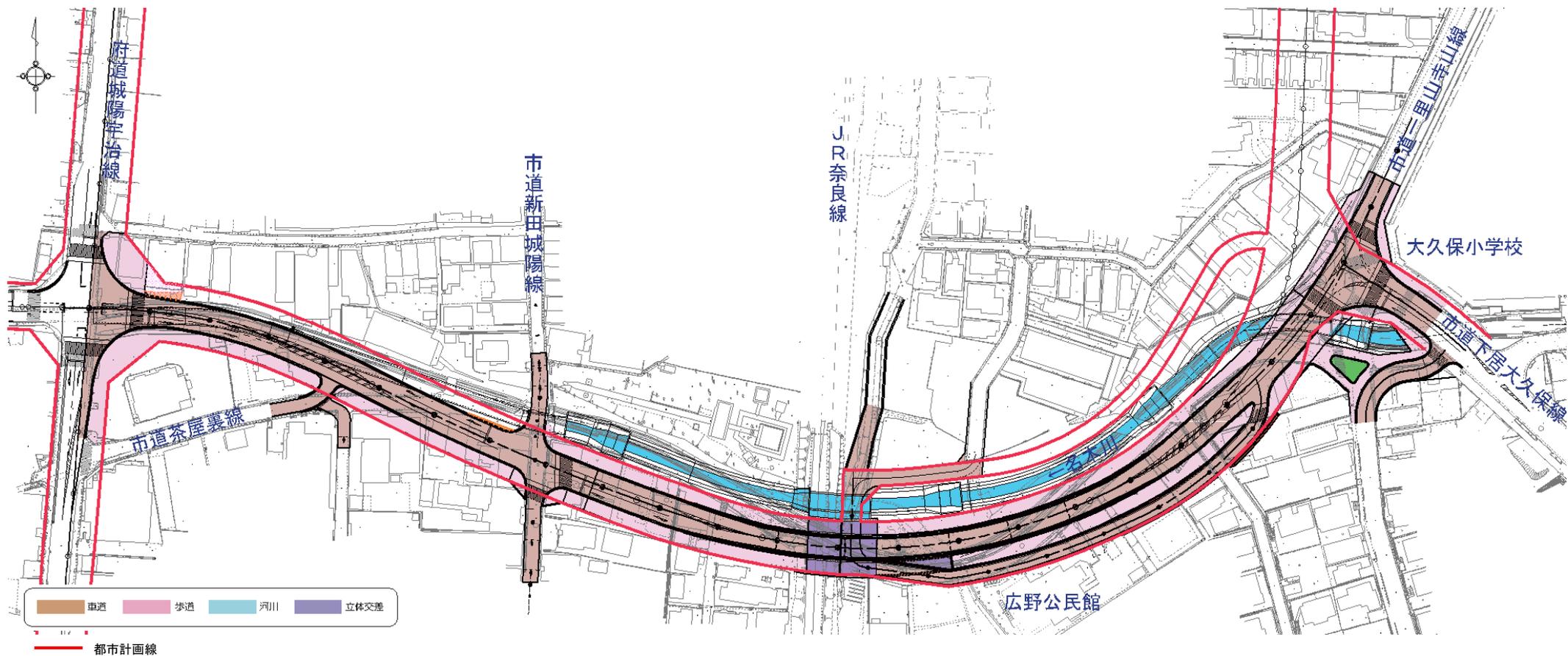
様式1

ふりがな 応募者名		きょうとふ、うじし 京都府 宇治市
街路事業	ふりがな 事業の名称	としけいかくどうろ うじよどせん 都市計画道路 宇治淀線
	ふりがな 事業主体	きょうとふ、うじし 京都府 宇治市
	ふりがな 実施都市名	きょうとふうじし 京都府宇治市
事業概要 (400字以内)		<p>宇治淀線は、宇治市を東西に横断する幹線道路であり、JR新田駅や近鉄大久保駅、国道24号や第二京阪道路へのアクセス道路であるとともに、宇治市をはじめとする府南部地域の生活・産業を支える重要な道路です。</p> <p>しかしながら、当該事業箇所では、駅周辺への交通の集中やJR奈良線の踏切により慢性的な渋滞が発生しており、また、歩行者や自転車が大変多い道路にもかかわらず、歩道の幅が狭い区間もあるなど、十分な安全が確保されていません。</p> <p>これらの問題に対し、京都府・宇治市が連携しバイパス事業（新宇治淀線）に取り組むこととし、市はJR奈良線の立体交差部を施行、府はバイパスを施行し、踏切渋滞の緩和による交通の円滑化、緊急輸送道路ネットワークの強化、歩行者・自転車通行の安全性向上を図ることができました。</p> <p>開通後、地元の学校関係者やバス事業者からは、「車の流れがスムーズになった」「バスの定時性が向上した」「通学が安全になった」等の声をいただいているところです。</p>
事業規模		<p>○事業延長：470m</p> <p>○事業費：約47億円（府事業＋市事業）</p> <p>○幅員：14.0m～19.0m</p> <p>○事業期間：平成9年度～平成28年度</p>
事業の目的		<p>慢性的な交通渋滞の解消</p> <p>安全な歩行、自転車通行空間の確保</p>
事業効果 (効果一覧を参考に具体的な効果を記入)		<p>安全・安心効果 交通の安全確保 生活道路における交通量</p> <p>渋滞箇所(旧道部分)の 渋滞長 330m → 90m</p> <p>※京都府調査 交通量 9,944台/12h → 7,174台/12h</p>
地元対応等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民との協働等</li> <li>・事業反対等があったか</li> <li>・合意形成等を図ったか</li> <li>・地域に配慮した点</li> </ul>	<p>宇治市において、住民参画の下に策定された、大久保駅周辺地区の整備構想において、本バイパス道路の整備を位置づけ、また、本事業に近隣する自治会より、提案を受け、地域・市・府が連携し、駅周辺のまちづくりに資する事業に取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の取り組み：広野公民館まつり再開、宇治大道芸大会、大久保出前学園祭、「地域安全協力員」による登校指導</li> <li>・宇治市事業：市道新田城陽線のコミュニティ道路化（カラー舗装）等</li> <li>・京都府事業：府道新田停車場線のコミュニティ道路化（側溝整備、カラー舗装）</li> </ul> <p>府道宇治淀線の歩行空間確保（側溝整備）</p>

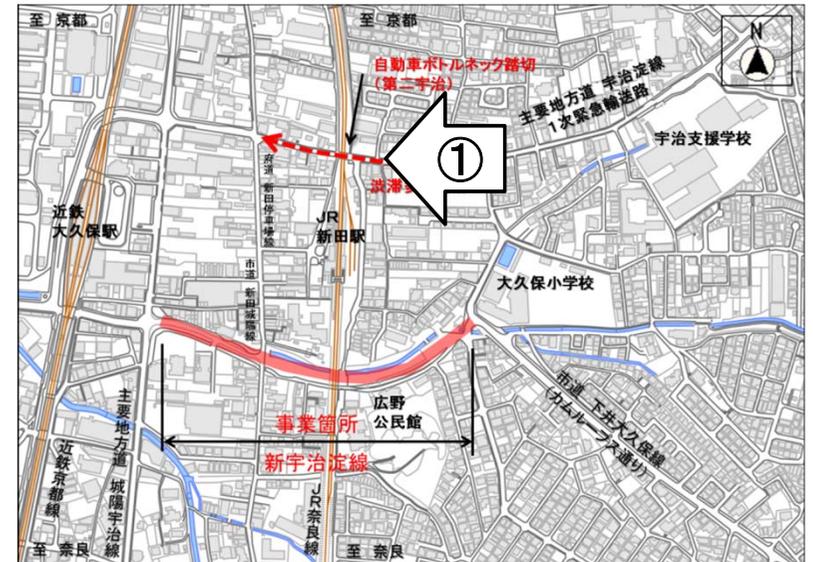
# 事業位置図



# 全体図(平面図・横断面)



# 事業前写真



# 事業後写真

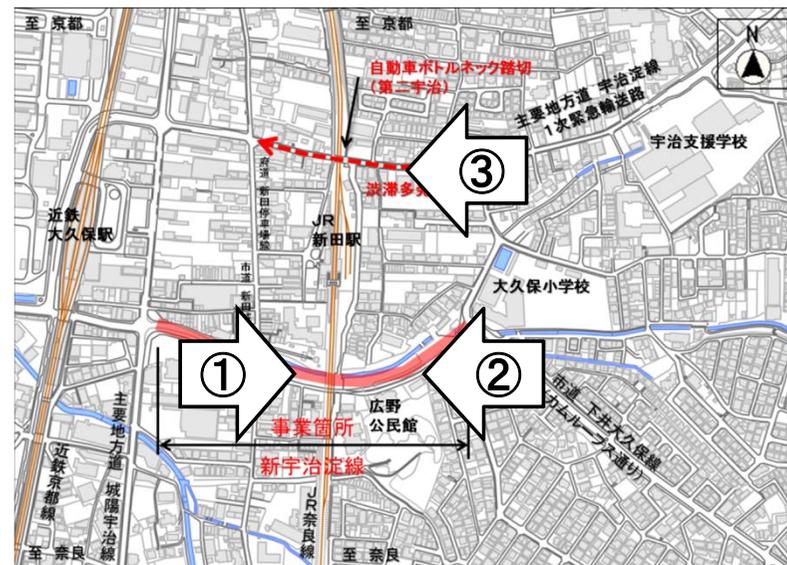
① 平成29年11月撮影



③ 平成29年11月撮影



② 平成29年11月撮影



## 宇治淀線の事業効果アピール資料

### ○ 事業概要

3・6・3 (都) 宇治淀線

事業箇所：京都府宇治市広野町 地内

整備内容：延長470m 幅員14.0~19.0

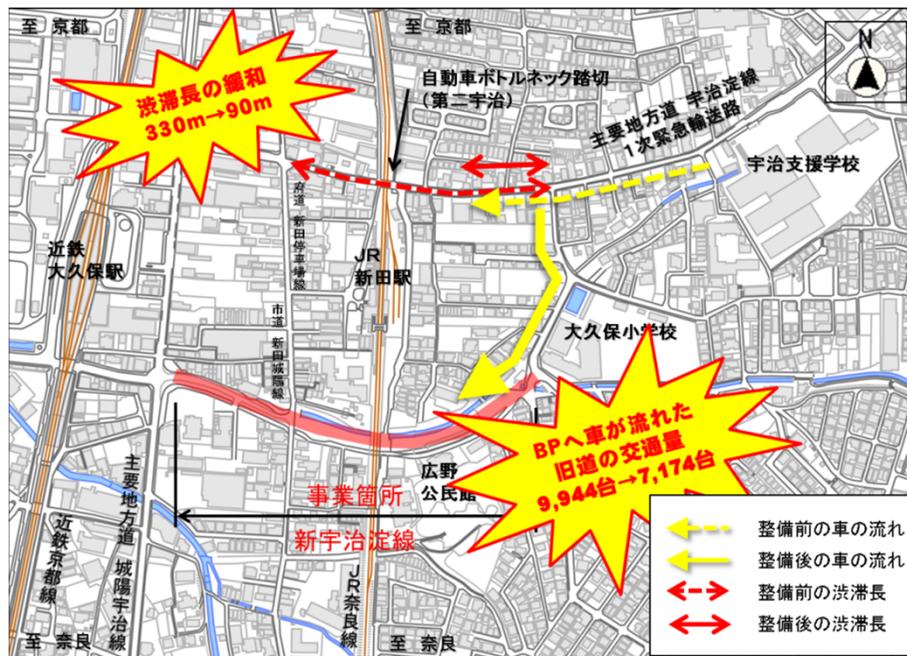
事業期間：平成9年度~平成28年度

### ○ 事業効果調査結果

	渋滞長 [m]	交通量 [台/12h]
供用前	330	9,944 (旧道)
供用後	90	7,174 (旧道) 13,185 (旧道+BP)

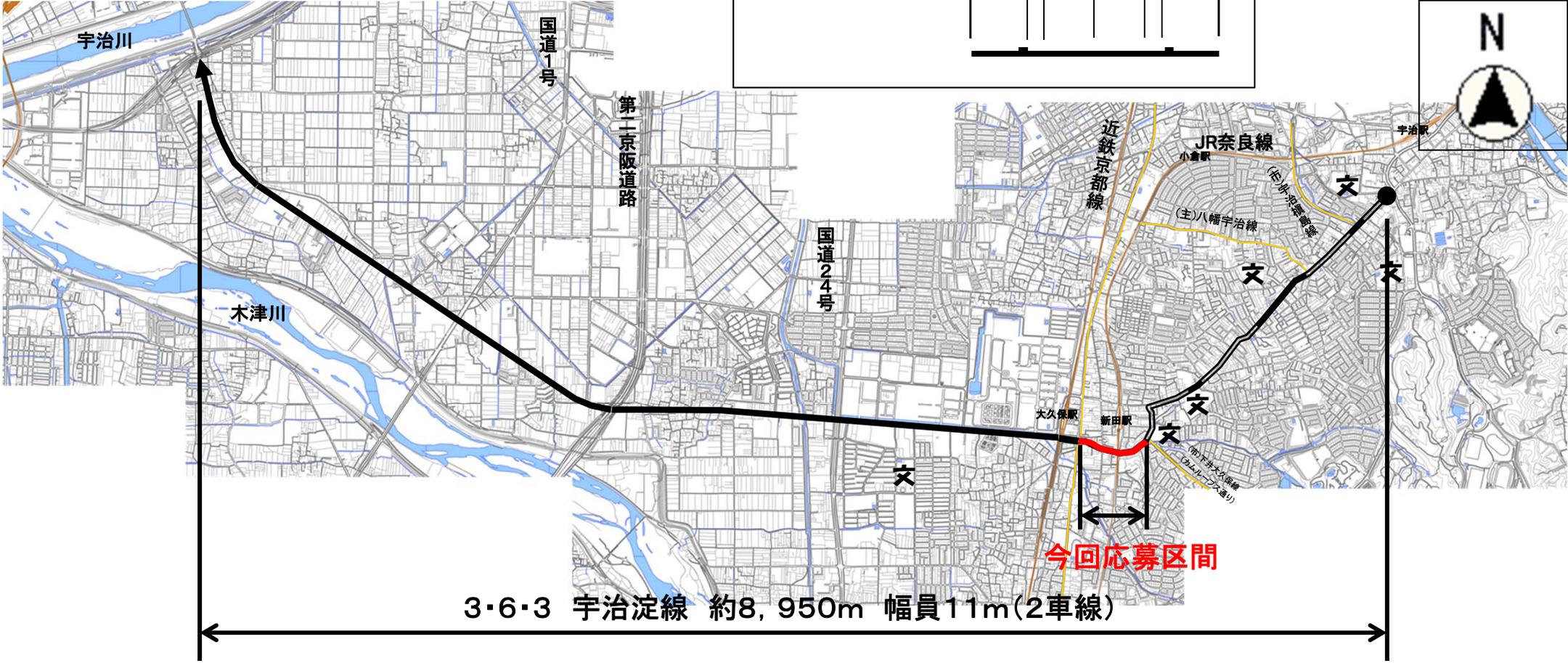
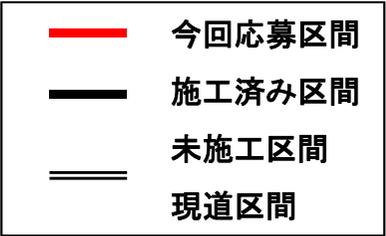
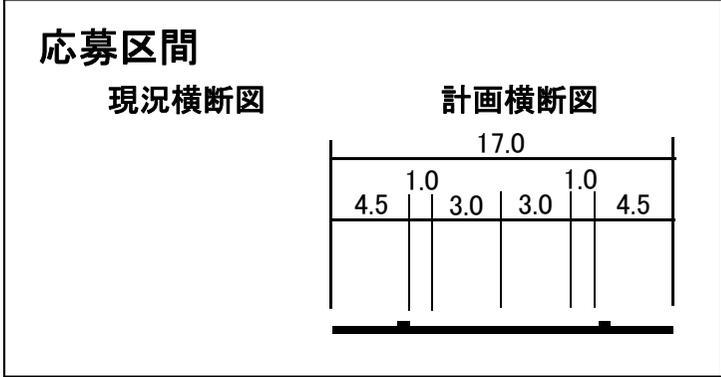
### ○ 事業効果

- ・ JR奈良線との立体交差により、交通の流れがスムーズになり、渋滞が緩和
- ・ バイパス部と旧道部を合わせた交通量が大幅に増加 (約1.33倍)
- ・ 歩道整備により、歩行者の安全性が向上



路線全体の進捗状況

都市計画道路 宇治淀線



# 都市計画図

